



11月1日現在	前月比
男	14,574 + 5
女	14,858 + 18
計	29,432 + 23
世帯数	6,848 + 1



産業文化祭点描



産業文化祭の一コマを紹介します。写真左上、柿・みかん・しいたけなど二八〇点が出品された農産物品評会。写真上、柿岡商店街の歩行者天国に出現したミニSL。写真左、二〇〇点が出品された菊花展。（関連記事八ページ）

主な内容

- 12月13日は町議選の投票日……………4P
- よい田、富田さんら5名を表彰……………5P
- 八郷と小桜農協の合併ふたたび……………2・3P
- 産業文化祭、健康まつり開かれる……………6・7P

合併、ふたたび！

進協議会が設立される＝

町が「合併推進要請書」を提出

情勢に対応した農協の組織強化を

これまで何度か試みられていた八郷町農協と小桜農協の合併について、町では「町の農業を守る」観点から、このほど、再び両農協に對して合併推進要請書を提出しました。

町では、農業の振興をはかるために、生産基盤となる土地改良事業や農業構造改善事業に取り組み、大型農業機械の利用が可能なほ場づくりやこれら農業機械、そして柿や梨選果場などの導入をはかってきました。

しかし、基幹作物である米は年々生産調整が厳しくなるとともに、長年の農産物価格の低迷は、他産業への労働力の

の流出や優良農地の遊休化をもたらしめています。

現在、町には二つの農協があり、町とともに農業所得の向上と農家経営の安定、農業の振興に努力してきたところですが、このように厳しい農業情勢に対応するためには、まず農家の「協同組織」である農協の組織を強化し、行政とともにこれに取り組むことが急務となっています。

新時代迎える農協経営

稲敷郡内では六町村七農協が合併

すでに稲敷郡内の農協では、このような農業をとりまく厳しい情勢に対応し、より充実した組合員へのサービスと地域農業の確立を目指して、隣接する町村の農協がまとまって合併し、「稲敷農業協同組合」が誕生しています。

この広域合併は、稲敷郡内

の江戸崎、桜川など六町村七農協が、町村の垣根をこえて合併したもので、県内の農協問題も新しい時代の幕明けを迎えたとして、注目されています。

このように、全国的に市町村を超えて広域合併が求められている状況であり、せめて

八郷町でも「一行政圏一農協」が望まれるところです。

今年の五月二十三日には、区長会長や農業委員等で組織されている町農政活動推進本部からも「農協合併推進に関する要望決議書」が町に提出され、八郷・小桜両農協の合

併を求める声は再び広がっています。

町では、これを受けて、県および農協など関係機関と協議し、六月二十六日に両農協に對して、合併推進要請書を提出する運びとなったものです。

農産物の一元集荷が不可決の要件 施設の有効利用からも農協合併が

現在、農協からいちご、きゅうり、そ菜などの野菜類や梨、柿、ぶどうなどの果樹類、しいたけ、しめじなどの林産物が共販により市場へ出荷されておりますが、市場で価格

の取り組みが拡大の方向にあります。

を有利に取引するためには、まず、まとまった量を安定的に供給することが必要とされています。

町の農業の振興をはかるうえで、農産物の一元集荷は不可欠の要件であり、また、梨選果場や稚蚕協同飼育所など農業施設の利用向上をはかるうえでも、農協の合併が望まれるところです。

なかでも、梨といちごについては、銘柄産地の指定を受けるためにこの推進をはかっているところであり、加えて、八郷町農協では「生協」

で、農協に求められる役割は益々大きくなっています。これら情勢に對処するためにも、両農協の合併が強く望まれます。

農協合併に對する

ご意見をおよせください

町では、農協の合併に對するみなさんご意見を求めています。町や農協の考えなど広報紙の中でみなさんの質問

や疑問にお答えします。みなさんにお配りした「町長へのたより」を利用して、広報課までお寄せください。

八郷と小桜農協の

= 10月12日、農協合併推

合併予定日、来年十一月一日に

協議会で推進日程、役員決まる

八郷・小桜両農協の合併を目指し、合併推進協議会が、十月十二日、町中央公民館で開かれました。

町では、合併要請書の提出と併せて、県の進める「一町村一農協」方針にもとずき、県および両農協と話し合いを進めてきましたが、両農協も理事会や運営委員会の中で合併問題が協議・検討され、全

面的な同意が得られたため、今回、合併推進協議会の設立となったものです。協議会は、組合員のいろいろな意見を聞き、慎重にかつスムーズに合併を進めるために、町議会代表や農業委員会代表、両農協の理事および監事、農協運営委員、農協生産部会の代表など、八十六名の委員さんで構成されています。



関係者61名が出席して開かれた推進協議会

設立総会では、これら関係者六十一名が出席して、設立総会に至る経過を報告したあと、規約や役員、事業計画、今後の推進日程などが決定されました。今後は協議会の中で、合併条件の

合併への歩み

- ▽昭和二十三年三月、農協法施行により旧町村単位に農業協同組合が設立される。
- ▽昭和三十七年六月、合併への気運が高まり、町内八農協によって農協合併促進協議会が設立される。
- ▽昭和三十九年十二月、合併総会開催の運びとなるが、小桜農協では否決される。
- ▽昭和四十年一月、町内の七農協が合併し、八郷町農業協同組合が発足する。
- ▽昭和五十六年五月、小桜地区内十四カ所での農協合併につき座談会を開催する。
- ▽昭和五十六年六月、小桜町理事会で合併推進を決め八郷農協に合併を申し入れる。
- ▽昭和五十六年七月、八郷町総代会及び運営委員会を開催し合併について協議する。
- ▽昭和五十六年九月、両農協が昭和五十八年二月一日合併・発足で合意する。
- ▽昭和五十六年十一月、八郷町農協合併研究会が発足。
- ▽昭和五十七年五月、合併推進協議会を設立する。
- ▽昭和五十七年七月、両農協合併予備契約に調印。
- ▽昭和五十七年十二月、臨時総会を開催し合併を提案するも、八郷農協で否決され合併不成立となる。

調整や立案など、合併に関する調査や研究が進められることとなります。

町農業の振興と厳しい農業情勢に対応できる農協の組織づくりを進めるためにも、農協合併にむけ、みなさんのご支援とご協力をお願いします。

総会で決められた役員、および今後の推進日程は次のとおりです。

〔役員〕○会長 八郷町長中村謙一 ○副会長 八郷農協

組合長木崎真、小桜農協組合

長原田伝左エ門 ○監事 八

郷農協代表監事安達喜義、小

桜農協代表監事田上好一 ○

常任委員(職名略) 山田保、

桜井盾夫、鬼沢操、大槻幸夫、

鈴木光雄、市村正男、原田猛、

小崎栄治、関修一

〔今後の推進日程〕○合併基

準日 昭和六十三年一月三十

一日 ○合併総会 昭和六十

三年七月 ○合併予定日 昭

和六十三年十一月一日

12月13日は町議選の投票日

議員定数20名 削減後初の選挙

任期満了に伴う町議会議員一般選挙の投票日が、十二月十三日に決まりました。今回の選挙は、議員定数が二名削減され、二十名で行われる初めての選挙です。

立候補できる人は

今回の選挙に立候補できる人は、満二十五歳以上の日本国民で、当町に三ヶ月以上住所を有する人です。

ただし、禁治産者や禁錮以上の刑の執行中の人、選挙権、被選挙権が停止されている人は立候補できません。

立候補予定者の説明会は、十一月二十六日の午後一時三十分から中央公民館で行います。

立候補の届け出は、十二月八日の午前八時三十分から午後五時までとなります。

投票のできる人は

投票のできる人は、昭和四十二年十二月十四日までに生まれた人で、本年の九月七日以前から引き続き、八郷町に住民登録をされている人です。

投票日、投票時間は、十二月十三日（日）の午前七時から午後六時までです。

投票日に投票できない人は不在者投票を

◎不在者投票
次の要件に該当し、投票日に投票できない人は、不在者投票ができます。

- (1) 投票区外で職務または業務中のとき
- (2) やむを得ない用務のため、町外に旅行中または滞在中のとき
- (3) 疾病、ケガ、妊娠、身体障害のため、歩行が著しく困難な人

不在者投票をする人は、印鑑、投票所入場券（届いている時）を持参して、役場内の選挙管理委員会へおいでください。

選挙人名簿登録者数 (62.9.2現在)

柿岡	4,254
小幡	2,512
芦穂	2,502
恋瀬	2,305
瓦会	1,962
園部	3,430
林	2,362
小桜	2,286
計	21,613

人は、その病院で不在者投票をすることもできます。

◎郵便による不在者投票
郵便による不在者投票ができるのは、障害のため投票所へ行つて投票することができない重度身体障害者の方で、重度身体障害者手帳、戦傷病者手帳の交付を受けている人です。

該当する人は、前もって町選挙管理委員会から「郵便投票証明書」の交付を受け、この証明書と「投票用紙・投票用封筒交付請求書」を選挙管理委員会に、投票日の四日前までに届けてください。

十二月八日から十二日まで、毎日午前八時三十分から午後五時まで受け付けています。

なお、指定されている病院等に入院している

投票用紙や投票用封筒が直接本人に郵送されます。なお、郵便投票証明書の交付申請は、代理の人でもけっこうです。

開票時間と場所

開票は、投票日当日の十三日午後七時から総合運動公園内の農業者トレーニングセンターで行います。詳しくは、役場内町選挙管理委員会（☎三三一―一一）へお問い合わせください。

進む離農と高齢者社会

昭和60年の国勢調査結果から

昭和六十年に実施された国勢調査の結果が、このほど発表になりましたので概要をお知らせします。

人口は八四七人の増加

町の人口は、表1のように前回の昭和五十五年に比べて八四七人増えて二九、一五五人となりました。この増加傾向は、園部、林地区に目立って見られます。

農業就業者は

一、三六六人の減少

産業別就業者数では、表2のように、第一次産業の農業への就業者が五、二二〇人と、前回の昭和五十五年から一、三六三人と大中に減少して、全体の三五・

三％になりました。

これに対し、石材や建設、製造業などの第二次産業は、六二九人増加し、二六・四％から三〇・八％に、運輸、小売、サービスなどの第三次産業は、六六八人増加して二九・三％から三三・九％になり、それぞれの産業別就業者の割合は、三等分に近い数字となりました。

我が町の基幹産業である農業への就業者は、五年間で一、三六六人と大幅に減少しており、これは町の就業対策の大きな課題となっています。

65歳以上が二三・九％

年齢別人口では、十四歳までの少年人口は六、〇〇五人で二〇・五％と変わりません

菊・地・四・郎・顕・彰・式

よい母富田さん(大林)の功を表彰

「よい子」「よい母」「よい勤労青年」、また「善行者」を表彰・顕彰する。菊地四郎顕彰式を、ことしも十一月三日の「文化の日」に中央公民館で行いました。

ことしは、よい母二名、善行者二名、よい勤労青年一名の合わせて五名が表彰を受けました。

よい母

富田信子さん(大塚 42歳)

富田さんは、昭和五十五年から五年間の間に、義父、夫、義母を相い次いで亡くし、小学生の子ども二人をかかえ、母子家庭となつてしまいました。しかし、富田さんは、一家の柱となり、女ながらにトラクター・耕耘機を運転、農業を営み、また母として、二人の子どもをりっぱに教育しています。

市塚トクさん(下林 72歳)

四十六歳の時に、十五歳と十二歳の子ども二人を残し、

夫に先き立たれましたが、逆境にも負けず、家業の商店を継ぎ、子どもたちをりっぱに育て、近所、親類との交際等、女手一つで切り盛りしてきました。

善行者

小林芳夫さん(片野 53歳)

人の嫌がる仕事を率先して行い、ことしの夏には、昨年のような洪水の被害を繰り返さないために、三カ月を費やし恋瀬川堤防などの草刈り清掃を行っています。また、子どもたちの通学時には道路に立ち、交通指導にあたるなど多くの奉仕作業を行っています。

川井茂男さん(柿岡 41歳)

三年前から、つくばねスポーツ少年団(柿岡地区)の監督を務め、多忙な家業の合間に毎日、子どもたちの野球の指導にあたり、県大会準優勝など、りっぱな戦績を残しています。スポーツを通し、



子どもたちに技能だけでなく、礼儀など精神面の指導も行い、子どもたちの健全育成にあたりています。

よい勤労青年

高橋昌広さん(下青柳 22歳)

生まれて間もなく父親を亡くしましたが、明るくまじめな性格で人望も厚く、現在は地区青年団長を務め、奉仕活動など地域づくりに貢献しています。また、学生時代から新聞配達を行い、学校から帰ってからや休日には農作業を手伝うなどして、母親を助け、現在に至っています。

表1 地区別人口の推移

	昭和40年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
柿岡	4,952人	5,368人	5,690人	5,885人
小幡	3,734	3,355	3,396	3,453
芦穂	3,583	3,221	3,205	3,240
恋瀬	3,511	3,121	3,024	3,034
瓦会	2,910	2,802	2,797	2,761
園部	4,071	4,066	4,418	4,687
林	2,844	2,705	2,876	3,087
小桜	3,132	2,849	2,902	3,008
計(農業就業者)	28,737(9,820)	27,487(7,799)	28,308(6,566)	29,155(5,200)

表2 産業別就業者数

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
昭和40年	11,145人 74.1%	1,371人 9.1%	2,510人 16.7%
昭和50年	7,820人 54.0%	3,138人 21.7%	3,479人 24.0%
昭和55年	6,583人 44.3%	3,922人 26.4%	4,350人 29.3%
昭和60年	5,220人 35.3%	4,551人 30.8%	5,018人 33.9%

が、十五歳から六十四歳までの生産人口は一九、〇七六人とわずかに一・〇%減少し、六五・四%となりました。かわりに、六十五歳以上の高齢人口は四、〇七一人と昭和五十五年調査時より四六人、一%増加して一三・九%になり、厚生省発表による我が国の昭和七十年の推計高齢人口(二四・一%)に近づき、町では一足早く十年後の高齢者社会を迎えようとしています。

町外への就労者は 四、六六九人

就労状況では、町外に働いている人が多く、農業以外の就労者のうち四八・八%の四、六六九人が石岡市、千代田村、土浦市など工業団地のある市町村へ働きに出ています。学園都市への就労者も一五三人と増加の傾向にあります。報告書から簡単に町の姿を紹介しましたが、企画開発課に各種統計資料が保管しておりますのでご利用ください。

子ども広場には、無料のわたあめ機も！



みことな作品が展示された書道展

健康文化祭 産業界の健康まつり

11月7・8日の両日、中央公民館を
主会場に産業界文化祭と第1回健康ま
つりが開かれました。

会場の中央公民館では、柿やミカン
など農林産物の品評会や菊花展、書道
展、お年寄りの作品展など、多彩な催
しが開かれると共に、牛乳の無料サー
ビス、つき立てのモチの即売、柿や肉
の即売も行われ、大にぎわいでした。

一方、商店街の歩行者天国では、お
好み焼の屋台やミニSS、迷
路なども登場し、文化
祭に花を添えま
した。



▲ 昨年好評だったつきたてのモチ即売はことしも長蛇の列
▲ 柿中の生徒によるカカシ展も文化祭に参加



スポーツの秋、町でも
各種スポーツ大会が総合
運動公園等を中心に行わ
れました

秋季町民軟式庭球大会

〈10月10日〉

男子の部

- 優勝 助川・飯岡組
- 準優勝 滝田・島田組
- 3位 村上・立川組

女子の部

- 優勝 諸星・塚田組
- 準優勝 石井・潮田組
- 3位 小野瀬・奥村組

萩原杯バレーボール大会

〈10月10日〉

男子の部

- 優勝 八郷クラブ
- 準優勝 柿岡青年OB1
- 3位 園部青年OB、ユニ
セフ

女子の部

- 優勝 小幡ママさん
- 準優勝 八郷女子クラブ
- 3位 有明ママさん、青柳
クラブ

町民野球大会

〈10月10日・11日〉

- 優勝 トンネルズ
- 準優勝 八郷町役場

▼▶ ケーシー高峰さんの講演は、爆笑の中にも「病気も予防にまさる治療なし」と普段の病気に対する心がまえが話され、大変好評でした。



ケーシー高峰の健康講座

ことしは、文化祭に合わせて健康まつりも開かれ、健康家庭の表彰やケーシー高峰さんの講演などが行われました。健康家庭の表彰は、昨年1年間に1度も医者にかかったことがなく、しかも国保税の滞納もない家庭が表彰されたもので、ことしは23世帯の方が表彰されました。

また、会場の公民館ロビーでは、血圧測定や歯科指導、乳ガンの触診指導、成人病予防食の展示・試食など食生活の指導コーナーも設けられ、健康づくりへの啓発が行われました。



文化祭・健康まつりの会場には、ぬいぐるみの人形も現れ子どもたちに大変好評でした。



歯科指導コーナー

開かれた

滝田杯ソフトボール大会

- 〈10月18日・11月1日〉
- 優勝 瓦会お父さん
 - 準優勝 北郷チーム
 - 3位 大塚ソフト、東ソフト

町民卓球大会

- 〈10月25日〉
- 男子シングルス
 - 優勝 浦野善久
 - 準優勝 嶋田行正
 - 3位 植木 貢
 - 女子シングルス
 - 優勝 佐藤順子
 - 準優勝 井川菊枝
 - 3位 塚田和子

県消防職員駅伝大会

- 〈10月29日〉
- 優勝 日立市消防
 - 準優勝 鹿島南部地区消防
 - 3位 北茨城市消防
- ※新治広域消防は19位でした。

ことしは3回咲きました 額狩さんの「月下美人」

南山崎の額狩清さん（52歳）宅に、十月十日、みことな月下美人の花が咲きました。夜の八時ころからつぼみを開き始め、九時ころまでには十五個の真っ白な花が一斉に咲き、部屋中に甘い香りを漂わせました。今年も、四月と八月に花を咲かせ、今度が三回目、近所の友達とお茶やビールを飲みながら花を觀賞したということです。フラワーパークの高須園芸課長に聞いたところ、普段は五月ころに咲き、まれに秋に咲くことがあるが、年に三回というのは本当にめずらしいとのことでした。



掘り立て・ホカホカ・おいしい

恋瀬小で「芋掘り」の野外授業

恋瀬小学校一・二年生九十三名が、十月二十六日、「さつまいも掘り」の野外授業を行い、楽しいひとときを過ごしました。

この日も掘りは、大增老人クラブの岡本林太郎さんのご好意により実施されたもので、ことしで五年目になるそうです。

岡本さんは、子どもたちの勉強に役立てばと、毎年、提供し続けているものです。

子どもたちは、体中泥だらけにしてたくさんのいもを掘り、掘ったあと、老人クラブのみなさんがふかしてくれた、ホカホカのいもに舌つづみを打っていました。



投稿

大切だった一本のローソク

真家 長谷川 雅 吾

見ましたら、紀元二千六百年祭祀

今、次のようなことを思い出しています。笑われるかも知れませんが、今から四十七年も前の支那事変の話です。

（中略）

私たち兵隊には、戦地での一本のローソクは貴重品でした。一本のローソクに光がともされて、周りを取り囲むように、いがぐり頭の兵隊の影が、新聞紙を張った壁に大きな影法師を写し出します。

なつかしい故郷からの便りを読む者、家に便りを書く者、古い雑誌を読む者など、一本のローソクの光に一人二人と集まってきました。ローソクの無い時は、豚の脂を取り、木綿の布にひたして燃やし、乏しい光の下で秋の夜長を過ごしたこともありました。

久しぶりに作戦行動も終わり、駐屯地に戻ると、内地から郵便物が到着していました。残り少ないローソクをつけて夢中で便りを読み続けていると、一人が「長谷川君これを見ろ。何んとも思わんか。」と大声で言うのです。今到着し

た二カ月前の新聞

あ、あのローソクの百分の一、いや千分の一でもおれたちに送ってくれたら、どんなに助かるか。」と興奮しています。私たちはよほどの時でないと思わずにいたので。もし、あのちようちん行列の一本のローソクがあったらと思ひ出します。

（中略）

今、物資は何んでもありますので、物の大切さが薄らいできてくるように思われます。再び、物のない時代が来るかも知れませんが、皆さん、今後とも物を大切にしましょう。

社教のひろば



水戸市の千波湖畔で十月十七日、十八日の両日、県主催による「科学万博記念いばらきふるさとまつり」が開かれました。

二年前、筑波研究学園都市で開かれた科学万博をきっかけに盛り上がった郷土意識を持ち続けてもらおうと、昨年からは始まった催しで、県内各

いばらきふるさとまつり

片野排禍ばやし 堂々公開 真家みたま踊り

地の伝統芸能や特産品などが集められました。その一環として「郷土民俗芸能の集い」が行われ、町からは「真家みたま踊り」と「片野排禍ばやし」が出演しました。

茨城には、歴史と伝統に培われた国、県指定無形民俗文化財など、数多くの民俗芸能があります。その中から十一の芸能が選ばれ、この集いで公演しました。

「真家みたま踊り」は真家の福寿院（真言宗）に平安時代末期から伝わる念仏踊りで、

お盆を中心にして寺の境内で老若男女が一緒になって踊ってきました。その後、新盆の家の庭でも踊るようになりまし

ました。七月の舞、二の谷の舞、十六拍子の舞などの演目があり、御仏の形といわれる浴衣にたすき、花笠、オゴマをつけて顔を隠し、白足袋、草履のいでたちで輪になって踊ります。

「片野排禍ばやし」は、片野の八幡神社の祭礼に奉納されるお囃子です。これは、大太鼓、小太鼓、笛、鉦による囃子に合わせ、ひしし舞、おかめ、きつね、ひよつとこ踊りをするというおもしろい伝統芸能です。文字



成人式の申し込みを

昭和六十二年度の成人式典を、来年一月十五日の「成人の日」に中央公民館で行います。

▼式典に参加できる人

昭和四十二年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人で、現在町に住民登録をしているか、町内の中学校を卒業した人。

▼参加申込み方法

該当する方には、すでに往復ハガキで通知してありますので、お申し込みください。

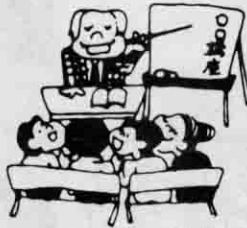
▼申込み期限

十一月末日まで

▼申込み及び問合せ先

教育委員会社会教育課（☎三六二六二）まで

紙上講座



豊かな子の育成⑥

家庭の不和

前号で、明かるい助け合える家族関係が、心豊かな子をつくる条件と述べた。でも、どの家庭でも平和な明かるい家庭と願いつつも、いざこざやけんかは常にある。否家庭とは不平不満を自由に吐き出す場所でもあるといえる。ゆえに問題は不平不満をどう解決するかだ。内容も「正常の不和か、異常の不和か」が問題なのである。

不和には二種類ある。家族の一員が外から家庭内に持ち込む「江戸のカタキを長崎で」式のもの、もう一つは家族相互の関係から生ずるもの。この二つのからみ合いが不和をより深くしてゆく。例えば、子が学校から不きげんで帰ってくる。母といさかいを起こす。夫がからみ合つて夫婦げんかとなる。血縁の家族が他人のように気がねばかりはしておれない。それだけに家族全員が、不和をよりよく解決する努力が円満な家庭を維持することになる。善意をもって心を傷つけることのないよう心がけることである。不和も解決の仕方次第で親密さを増すことを考えたい。

—飯島照雄社教指導員—



町産業文化祭・健康まつりで

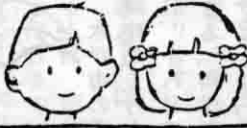
わたしたちと消防

小幡小四年 海東優子

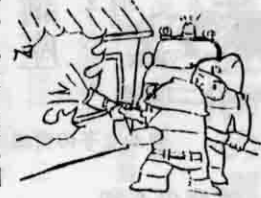
わたしは、もうすぐきびしい冬になるので、消防のことについて考えてみようと思いました。冬になるとガスやストーブ、こたつなど火が出る物をよく使うからです。

もし火が出る物を使っている消すのをわすれたり、話をしていてそのままにしておくとやがて火事になってしまつて、人の命をうばうことにもなつてしまふと思います。

スクールゾーン



けすだけでなく、火に強い服をきて、人を助けたり、けいさつや役場、電力会社、病院などと連らくをとりに、見にくる人を火事のほうまで近づけないようにしたり、電気の原因を切ったり、けがをした人を運んだりしています。今年もひなん訓練に消防しよの人たちが来てくれました。そのとき話をきいたのですが、消防しよの人たちは、いつ火



その時役に立ってくれるのが消防しよの人です。わたしたち四年生は、社会科の学習で消防しよのことを調べました。消防しよの人は、ただ火を

事がおきてもすぐいけるように服をきてねているそうです。そして、ふだんの日でも、体をきたえたり訓練をしているそうです。

わたしも八郷分しよのところを通つたとき、つなをわたつたりしているところを見たことがあるので、すごいなあと思いました。そして、消防しよのおじさんが最後に

「おじさんは、八郷町を守っているということほこりをもっている。みんなも消防の仕事をしてみたいと思いませんか。」といつたので、ほんとうに大変な仕事だけとおじさんたちは自信をもつてやっているんだなあと感じしました。

これからは、わたしたちのできることをみんなやっつけていき、消防しよや消防団の人にめいわくをかけないようにして、みんなで火事のない安全な八郷町にしていききたいと思います。



冷え症

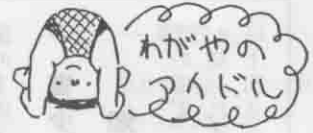
女性に多い冷え症は、とかく放置されがちです。冷え症は、下半身を冷やすと末しよう血管が収縮し、流血量が少なくなつて起こりますが、腹部や内臓の血液循環にも影響をあたえます。全身的な異常があるときは、卵巣の機能不全や生理不順なども考えられますので医師の診断を受けましょう。

①血液の循環を良くする↓ジョギング、テニス、バレエ、ボールなど全身運動で体を鍛え、体質改善をはかります。また、マッサージや乾布まさつなども血行を良くし有効です。

②保温↓特に下半身を冷やさないよう保温します。また就寝前に入浴し、からだを十分

温めてから床につきましよう。
③栄養の改善↓良質なたんぱく質、鉄、ビタミンB₁₂、葉酸、脂肪、ビタミンC・Eの多い食品をとります。
●鉄分を多く含む食品⇒ひじき、貝類、卵黄、レバー、ほうれん草
●葉酸を多く含む食品⇒ほうれん草、キャベツ、レバー、干した果物、大豆、アスパラ
●ビタミンB₁₂を含む食品⇒卵レバー、牛乳、なつとう、海そう

●ビタミンEを含む食品⇒植物油、ピーナッツ、ゴマ
——以上のような食品を上手に組み合わせてください。
特に、レバーを上手に食べましよう。レバーには、良質のたんぱく質・鉄分などが豊富ですし、ビタミンの宝庫といわれるほどビタミンを多く含んでいます。貧血や冷え症には最適です。香辛料や香辛野菜（ねぎ、しょうが、にんにくなど）を使って料理すれば、レバーのくさ味も抜けるので、おいしく食べられます。



萩原真樹子ちゃん (片岡)

父 成夫さん 母 ヒロ子さん
昭和60年5月23日生まれ(長女)
家族からの一言

真樹子はことばも早く、好き嫌いもなく何でも食べます。お兄ちゃんとけんかもよくするため、とても気が強い子です。いつでも明るく素直な子に育ってほしいと思います。



柿岡

大枝 正男さん (36)
啓子さん (29)

今日は、柿岡の大枝正男さん啓子さんをお訪ねしました。正男さんは、造園業を営んでおり、趣味がこうじて仕事になったそうです。啓子さんは勤めのかたわら、忙しいときは手伝うそう、「夏の水かけが一番たいへん」と話していました。

— 旦那さま夫婦ですか。

啓子 結婚して六年目になりますが、ちよつと中途半端な時期だと思えます。新婚というわけでもないし、これで十年くらい過ぎれば、夫婦としての落ち着きも出てくるんじゃないかと思えますが。

正男 年齢的にも私たちがこれらの年代が、一番たいへんな時期だと思えます。仕事面でも家庭でも中心になってくる年代ですし、忙しい時期です。啓子 まだ子どもも小さいし、とにかく忙しい毎日です。早く自分の時間が欲しいですね。

— 年齢が七歳離れているそうですか、いかがですか。

正男 自分と同じ年代の人たちよりは、若い人の気持が分かるんじゃないかな。啓子 たよりがいはあります。でも、話が合わないところもあるんですね。結婚したころは、もっと遊びの部分が欲



しいと思いましたが。正男 よくテレビなんかで昔の番組の紹介なんかやりますよね。そうすると私は知っていても女房は全然知らないって言うし、おもしろいですよ。

— ありがとうございました。次のご夫婦を紹介してください。

正男 辻の大関昭一さん春乃さんを紹介いたします。

やまと文芸



短歌

吉田次郎選

老後には良かれと植えし栗の佃のあまり安きに行先思わる

東成井 大和田 利

古里の母は卒寿の坂を越え今日も元気に帽子編みおる

東成井 小松みき

遠近に虫の音聞こゆ取り入れの終りし稲田秋深みゆく

東成井 小島せん

俳句

杉山馬酔木選

草紅葉古墳めぐりて歌碑に佇つ

小倉 中島美仙

ありなしの風にこぼれる萩の花

大塚 友部ゆき江

新涼や四十年振り戦友の声

東成井 小池 亀太郎

俚謡

大木嶺月選

びりであつても元気で走る孫に拍手の祖母の愛

十三塚 瀬尾 小三郎

老いも楽しく栗むき助け続く富有の柿の選

真家 川崎 夫久

頑固爺でも可愛い孫の守りに杖つき友となる

東成井 小島 せん

十月号に掲載しました、友部ゆき江さんの俚謡中の「蟬」は、「蟋蟀」の誤りです。訂正いたします。

ありがとうございます

○恋瀬小学校へほうき四十五本及びそうきん七十枚

○小桜保育所へ電装資材一式 及び外部スピーカー一基

○各小・中学校へ児童・生徒用図書七十七巻

川又 鴻集 昇 (株)いせやホームセンター

林地区で健康キャンペーン

循環器、ガン検診に604名受診

第六回健康キャンペーンが、十月四日、林地区公民館で開かれました。



この催しは、最近の成人病による死亡割合が多い循環器系疾患（別表）や胃がん、肺がん等の早期発見、早期治療を目的に、毎年、一地区を対象に実施しているものです。

健康キャンペーンでは、疾病予防のため、減

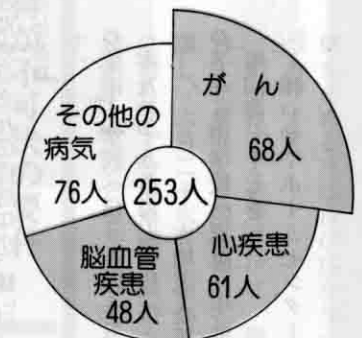
塩・減糖・バランスのとれた食生活をテーマとした試食コーナーや、大竹武治さん（茨城よろこびの会）の体験談「集団検診でみつかった早期がん」の講演がありました。

大竹さんは、十一年前、役場の検診で胃がんが見つかり、手術を受けた体験があります。当時の家族の柱としての動揺ぶりを話した後、「病気は本人だけの不幸ではない。家族全員が暗い毎日を過ごすことになる。不治の病といわれるガンも、発見が早ければ助

八郷町の死亡割合

(昭和61年度)

循環器系疾患（脳血管心疾患）109名、がん68名（胃がん21名、子宮がん1名）の方が亡くなっています。



かるのだから、年に一、二回は必ず検診を受けてください」と講演を閉じました。なお、林地区では、延六百四名の方が受診されました。

健康標語決まる — 入選作六名

健診を受けて健康 明るい家庭

庭 (太田 大槻春恵)

▽優秀 (年一度受けよう健診声かけ合って) (柿岡 打川久美子)

○あかるい町一家そろって健康づくり (真家 本多喜美子)

▽佳作 (健康は明るい家庭の第一歩) (小幡 上田俊武)

○健康で心ふれあう町づくり (柿岡 鈴木つね)

○定期健診必ず受けます長寿の町 (大増 岩田妙子)

青少年相談員として、長年尽くされている大字根小屋の上田久さん(53歳)に、員連絡協議会々長、県青少年

青少年相談員の上田さん 知事から感謝状うける



このほど、知事から感謝状が贈られました。

上田さんは、昭和五十年 年相談員連絡協議会石岡地区代表理事として活躍されています。

町では、みなさんに健康に対する認識を深めていただくこと、健康標語の募集を行いました。九月二十六日締め切りしました。

▽最優秀 (入選作品) 健診を受けて健康明るい家

八郷町の火災・救急出動件数

		10月中	62年累計
火災	物野他計	0件	9件
	建林の	0	4
	建林の	0	0
救急	病通他計	20件	201件
	急交の	17	122
	急交の	13	98
		50	421

今月の納税

11月 国民年金 11月分
12月 固定資産税 第3期
国民年金 第5期 12月分

町では、各地区の公民館等で、循環器検診、胃がん・肺がん検診を実施していますので、みなさんも通知があったら必ず受診してください。